

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	教職教育研究センター(教務機構)
大項目	11 教員・教員組織
中項目	
小項目	11.0.2 学部・研究科等の教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。
要素	編制方針に沿った教員組織の整備 授業科目と担当教員の適合性を判断する仕組みの整備 研究科担当教員の資格の明確化と適正配置(院・専院)
小項目	11.0.3 教員の募集・採用・昇格は適切に行われているか。
要素	教員の募集・採用・昇格等に関する規程および手続きの明確化 規程等に従った適切な教員人事
小項目	11.0.4 教員の資質の向上を図るための方策を講じているか。
要素	教員の教育研究活動等の評価の実施 ファカルティ・ディベロップメント(FD)の実施状況と有効性

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 教育相談活動や学校インターンシップの指導等、教育現場からの期待や要請に充分に応えるために、専任教職員等の数的充実を図り、バランスの取れた指導体制を構築する。	→教育相談活動や学校インターンシップの指導等の対応実施状況。	C	C	C	C	B
2. 学校教員への採用数の増加を図るために、現状の検証を行ったうえで、専任教員を中心に増員を図り、養成・採用段階の指導相談機能を充実させる。	→教員(専任及び講師)への学生・卒業生の採用数及び模擬面接指導等の授業外講座等の開催・参加者数。	C	C	C	C	B
3. 教職大学院施策に留意し、教育学部と可能な限りの連携を取りながら、変動する文部科学施策に対応できるような教員組織の編成をすすめる。	→教職課程6年制への検討・対応状況と教育学部との連携状況。	C	C	C	C	B
	→1～3の目標達成のために2013年度までに教職員の増員を図り、上ヶ原キャンパスに専任教員を、また神戸三田キャンパスに専任教員及び専任職員の配置をすすめる。	D	D	D	D	B

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	B	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 神戸三田キャンパスの教職相談室への職員(契約職員)1名の増員が決定し、2014年4月より新しい体制で臨んでいる。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 増員されたことで、指導体制が強化されていると思われる。ただ、複雑な業務内容のため、早く慣れてもらうための時間が必要である。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か。 毎週火曜日には、西宮上ヶ原キャンパスの教職教育研究センターに勤務し、経験を積んでもらうことにしている。	☆
		その他	
			☆
目標2	B	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 専任教員1名(任期制B教授)の増員が決定し、すでに採用人事も最終的に決定した。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 就任は2014年度秋学期からであるが、学生への指導相談機能の効果は十分達成されると思われる。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 効果が達成できるように、新任者が従事する業務内容を十分精査して、業務の遂行にあたってもらえるよう留意したい。	☆
		その他	
			☆
目標3	B	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 教育学部の再課程申請は認められ、連携の効果はあったと思われる。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 教育学部の再課程申請においては、文部科学省の要求に対応できるように、教育学部とは綿密な連携を図った。課題・改善点は特に見られない。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 今後さらなる、教育学部との連携を深め、大学としての文部科学省との窓口としての機能を強化したい。	☆
		その他	
			☆
備考			☆